



当時の東札幌駅

昭和三十四年で、地域のさらなる発展を願う、国鉄の東札幌駅と郵便局の名前から、「東札幌」としました。

8

東札幌は、明治五年に開拓道路（現在の国道十二号）に直角に作った横道（現在の米里・行啓通）に沿って十四戸の家が移転したことに始まります。その横道は、本通りに対する横通りの意味で、「横丁（町）」という愛称で呼ばれ、人々に親しまれてきました。

東札幌

本郷通

この地域は、かつては南郷の一部で、どかな田園地帯でしたが、昭和三十一年に始まった土地画整理事業により、住宅地へと姿を変えました。

7

この地域は、区画整理事業が終了した昭和三十八年、白石と豊平の境界をなす道路が通っていた地域であったことから、「界通」の「さかえ」に、地域の繁栄の祈りを込めて「栄」の文字を当て、「栄通」と命名されました。

栄通

9

この地域は、明治十七年に入植したのが始まりで、昭和七年の町村制施行後、厚別川の川下にあたるということから「川下」と命名されました。

川下・川北

10

11

この地域は、平成元年に厚別区と分区する前は「大谷地」の一部だった場所で、開拓当時大きな湿地帯であったことから、沼地、湿地を指す「谷地」からそう呼ばれていました。

14

流通センター

この地域は、明治二十三年に九戸の農家が入植したことに始まります。

12

13

米里・東米里

